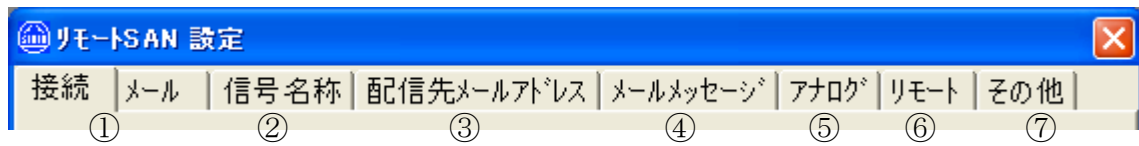
クラウドロガー
取扱説明書

７ － イベントメールモード 端末設定

エコモット株式会社

設定ツール画面操作説明

事前に『６－ 設定準備』をご参照の上 RemoteSANSetup を立ち上げ、イベントメールモード（単独モード）設定画面を表示してください。

①［接続］・［メール］
クラウドロガーからメール配信する為のプロバイダ接続情報およびメールアカウントの設定をします。

②［信号名称］
遠隔操作画面に表示される信号名称が設定できます。

③［配信先メールアドレス］
メールの配信先を設定します。配信先メールアドレスで宛先を登録（最大１０件)、メール配信設定でイベント毎に配信先メールアドレスを設定（最大５件）します。

④［メールメッセージ］
各イベントに対応したメッセージを設定します。
接点入力８点、アナログ入力４点、定時刻メール３点、呼起しのメッセージを設定します。アナログ信号における上下限の判定はメッセージに自動挿入されます。

⑤［アナログ］
アナログ入力信号４点の入力に対して、重み、オフセット、有効桁数、単位、上限値、下限値を設定します。
重み、オフセット、有効桁数、単位は遠隔操作画面での表示の為の設定です。
上下限値はチェックマークにて判定を行います。上限判定は設定値を超えた場合、下限判定は設定値を下回った場合です。

⑥［リモート］
入力信号により端末入出力状態を確認またはリレー出力を行う場合に使用します。
但し、リレー出力を行う場合は装置に大きな損傷を与えたり、人に危害を加えるような使用は避けてください。
端末パスワードは遠隔操作画面にログインする為のパスワードです。
詳細説明はイベントメールモード遠隔操作の説明をお読みください。

⑦［その他］
端末名称の設定をします。端末名称はメールタイトルと遠隔操作画面上に表示されます。
定時刻１～３のメール送信時刻の設定をします。

［接続設定］

設定内容はメールプロバイダに確認の上設定してください。

－－

［プロバイダ接続設定］

ａｕ．ＮＥＴ使用時

上記のまま設定してください。

その他のプロバイダ使用時

PacketWIN／PacketOne 対応インターネットプロバイダの情報を入れてください。

－－－

［メール設定］

リモートSAN 設定

接続 | メール | 信号名称 | 配信先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | ﾒｰﾙﾒｯｾｰｼﾞ | ｱﾅﾛｸﾞ | ﾘﾓｰﾄ | その他

SMTP設定

SMTPサーバ　　ポート番号 25

Mailアドレス

認証方式　◉なし　○POP認証　○SMTP認証

SMTP認証方法　自動

アカウント

パスワード

パスワード（確認用）

POPサーバ名

緊急メールアドレス

設定　キャンセル

メール設定（送信サーバ　ＳＭＴＰ）

　お客様ご利用のプロバイダのアカウントを設定してください。

［ＳＭＴＰ設定］

ＳＭＴＰサーバ	ＩＰアドレスまたはサーバ名を入れてください。
Ｍａｉｌアドレス	メールアドレスを入力してください。
認証方式	メールサーバの認証方式を選択してください。
ＳＭＴＰ認証方法	ＳＭＴＰ認証の場合、認証方法を選択してください。 （PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5 に対応）
アカウント・パスワード	ご利用のアカウント情報を入力してください。
ＰＯＰサーバ名	ＰＯＰ認証の場合に入力してください。 ポート番号は 110 の固定になります

※接続設定においてａｕ．ＮＥＴを使用する場合、

２００８年９月以降はＳＭＴＰ認証に対応したメールサーバの使用に限ります。

［緊急メールアドレス］

　ダイアルアップ接続に失敗した場合に配信されるメールの配信先を設定します。

　※緊急メールアドレスは［接続設定］が他のプロバイダ設定時に使用できます。

［信号名称設定］

リモートSAN 設定

接続 | メール | 信号名称 | 配信先メールアドレス | メールメッセージ | アナログ | リモート | その他

入力

DI-0	DI-0	AD-0	AD-1
DI-1	DI-1	AD-1	AD-2
DI-2	DI-2	AD-2	AD-3
DI-3	DI-3	AD-3	AD-4
DI-4	DI-4		
DI-5	DI-5		
DI-6	DI-6		
DI-7	DI-7		

出力

DO-0	DO-0
DO-1	DO-1
DO-2	DO-2
DO-3	DO-3

設定　キャンセル

遠隔操作画面の信号名称を設定してください。

入力できる文字数は最大半角１６文字です。（全角１文字は半角２文字分です）

［配信先メールアドレス登録］

リモートSAN 設定

接続 | メール | 信号名称 | 配信先メールアドレス | メールメッセージ | アナログ | リモート | その他

番号	メールアドレス
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

メール配信設定

設定　キャンセル

メール配信先アドレスを登録してください。
登録後、右下の［メール配信設定］をクリックして設定を行ってください。

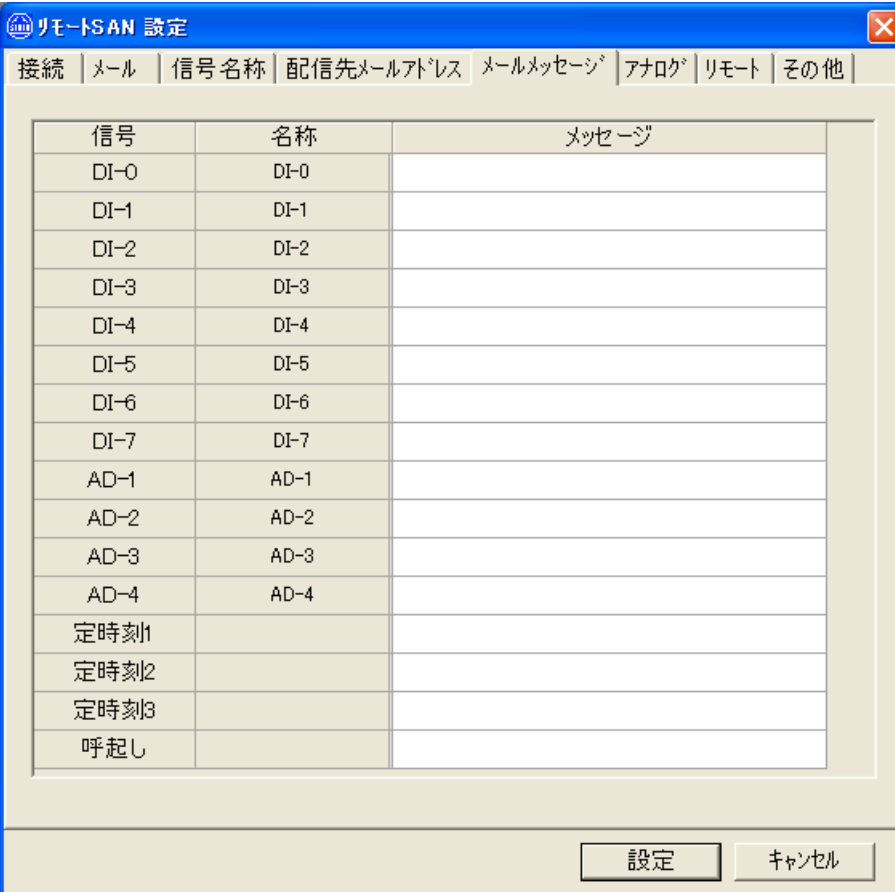
メールアドレス文字数は最大半角３１文字になります。

［メール配信設定］

リモートSAN 設定

	配信先1	配信先2	配信先3	配信先4	配信先5
DI-0	無し	無し	無し	無し	無し
DI-1	無し	無し	無し	無し	無し
DI-2	無し	無し	無し	無し	無し
DI-3	無し	無し	無し	無し	無し
DI-4	無し	無し	無し	無し	無し
DI-5	無し	無し	無し	無し	無し
DI-6	無し	無し	無し	無し	無し
DI-7	無し	無し	無し	無し	無し
AD-1	無し	無し	無し	無し	無し
AD-2	無し	無し	無し	無し	無し
AD-3	無し	無し	無し	無し	無し
AD-4	無し	無し	無し	無し	無し
定時刻1	無し	無し	無し	無し	無し
定時刻2	無し	無し	無し	無し	無し
定時刻3	無し	無し	無し	無し	無し
呼起し	無し	無し	無し	無し	無し

設定　閉じる

配信先設定は信号名称・各イベントの配信先１～５のいずれかを選択します。

選択しますとプルダウンメニューが表示されます。
プルダウンメニューから登録したメールアドレス一つ選択してください。
※“呼起し”はウェイクアップサービスを行った場合の送信先を登録します。

選択完了後［設定］をクリックしてください。

［メールメッセージ設定］

信号名称・各イベントに対応したメッセージ（メール本文）を登録してください。
※“呼起し”はウェイクアップサービスを行った場合のメッセージを登録します。

メッセージ文字数は最大半角３２文字になります。（全角１文字は半角２文字分です）
※半角カタカナには対応していません。

［アナログ設定］

遠隔操作画面でのアナログ表示形式をＣＨごとに設定します。

［重み］

入力カウント値に乗算する係数を指定します。

最大１０文字（小数点含む）まで入力できます。

※アナログ入力はＭＡＸ４０９５カウントになります。

０～５Ｖ入力設定時：０Ｖで０、５Ｖで４０９５±２%以内です。

０～１０Ｖ入力設定時：０Ｖで０、１０Ｖで４０９５±２%以内です。

４～２０ｍＡ入力設定時：０ｍＡで０、２０ｍＡで４０９５±２%以内です。

［オフセット］

原点合わせのために（重み計算後の）値から加算する値を指定します。

最大１０文字（小数点含む）まで入力できます。

［有効桁数］

データ表示の際の小数点以下桁数を指定します。

０～１０まで指定できます。

［単位］

データ表示の際の単位を指定します。

文字数は最大半角１０文字になります。（全角１文字は半角２文字分です）

［上限値／下限値］

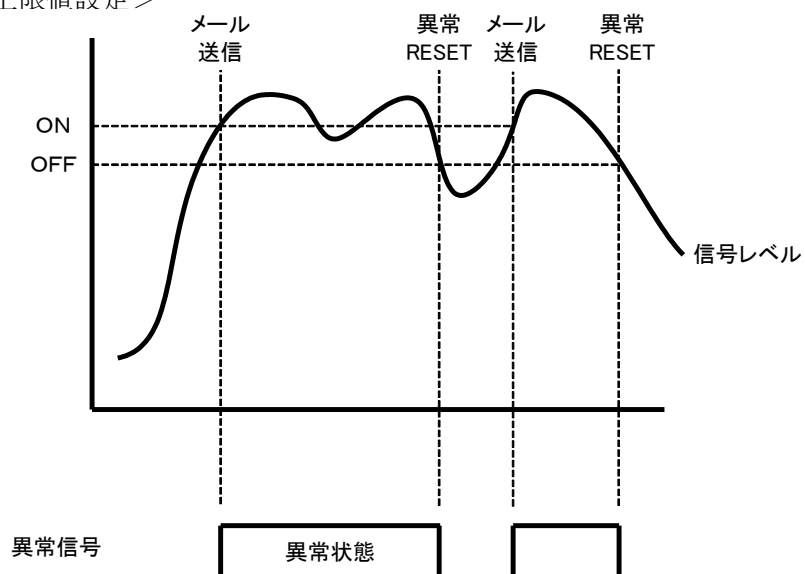
上下限値を設定します。

設定された数値を上回るまたは下回る数値（重み、オフセット計算後）の場合、メールを送信します。

チェックマークを入れてから値を設定してください。

ＯＮ　　：　設定値を超えたら異常ＳＥＴです。

ＯＦＦ　：　異常信号をＲＥＳＥＴする値を設定します。

＜上限値設定＞

ＯＮとＯＦＦの間のヒステリヒスを設定できます。

［リモート設定］

この操作は遠隔で行いますのでシステムとして重大な事故等になる恐れのあるところには使用しないでください。

携帯電話はインターネット接続可能な機種から操作が出来ます。

リモートSAN 設定

接続 | メール | 信号名称 | 配信先メールアドレス | メールメッセージ | アナログ | リモート | その他

DI bit0	○使用 ◉未使用	AI ch1	○使用 ◉未使用
DI bit1	○使用 ◉未使用	AI ch2	○使用 ◉未使用
DI bit2	○使用 ◉未使用	AI ch3	○使用 ◉未使用
DI bit3	○使用 ◉未使用	AI ch4	○使用 ◉未使用
DI bit4	○使用 ◉未使用	定時刻1	○使用 ◉未使用
DI bit5	○使用 ◉未使用	定時刻2	○使用 ◉未使用
DI bit6	○使用 ◉未使用	定時刻3	○使用 ◉未使用
DI bit7	○使用 ◉未使用		

端末パスワード

設定　キャンセル

入力信号・イベント毎に遠隔操作の設定をします。設定は使用・未使用から選択してください。

［端末パスワード］

　　遠隔操作画面にアクセスする際のパスワードを入力してください。

　　パスワード文字数は最大半角３２文字になります。

［その他］

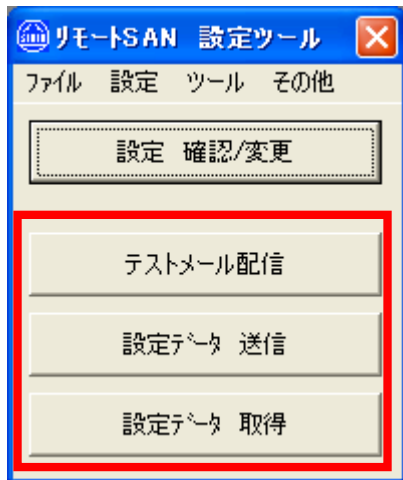
［端末名称］

設定した名称は配信されるメールの件名および遠隔操作画面に表示されます。
文字数は最大半角３２文字になります。（全角１文字は半角２文字分です）
※半角カタカナには対応していません。

［定時刻設定］

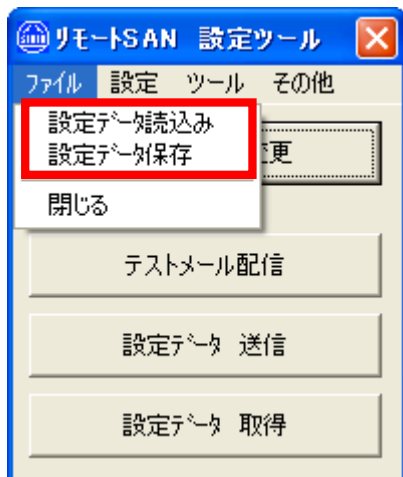
チェックマークを入れてから時刻を設定してください。
チェックマークを入れた時刻にメール配信されます。

以上で設定項目の説明は終わります。
設定画面の右下にある［設定］をクリックして、設定データの送信を行ってください。

設定データを送信または取得します。

［テストメール配信］　配信先メールアドレスに登録したアドレスに送信テストを行います。
※必ずメールが届くことを確認してください。

［設定データ　送信］　端末に設定データを送信します。

［設定データ　取得］　端末から設定データを取り込みます。

［ファイル］をクリックすると次の操作ができます。

［設定データ読込み］　ファイル保存した設定データを読込みます。

［設定データ保存］　設定データをファイル保存します。

設定終了後は［閉じる］をクリックして終了してください。

イベントメールモードの設定が終了しましたら端末の電源をお切りください。

テストメールが失敗（エラー）になる場合の確認事項

［メール設定］

・ＳＭＴＰサーバ、ＰＯＰサーバ名にサーバ名（ＤＮＳ）のＩＰアドレスを設定してください。
　サーバ名からＩＰアドレスの調べ方（Windows の場合）

①インターネット接続可能なＰＣを用意します

②「スタート」－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」からコマンドプロンプトを起動します

③コマンド「nslookup “サーバ名”」を入力し「Enter」を押します

＜サーバ名が aaa.bbbbb.jp の場合＞

```
C:¥>nslookup aaa.bbbbb.jp        [Enter]
Server:  xxx.yyyyy.jp
Address:  111.222.333.444


Name:    aaa.bbbbb.jp
Address:  555.666.777.888        ←aaa.bbbbb.jpのIPアドレス
```

④最終行にＩＰアドレスが表示されます

・ご利用のメールサーバーがＰＯＰ認証の場合、ＰＯＰサーバーのポート番号は１１０であるか確認してください。

・ご利用のメールサーバーがＳＭＴＰ認証の場合、認証方法が PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5 のいずれかに対応していることを確認してください。

［配信先メールアドレス］

・登録したメールアドレスが間違っていないか確認してください。

※テストメール失敗の際は端末を再起動してから、再度テストメールを行ってください。

運転モード

端末の設定が全て終了しましたら、電源を切ってから設定用ディップスイッチ（ＤＩＰ－ＳＷ１）を全てＯＦＦに設定します。

ＳＷ番号	状態
１～８	ＯＦＦ

電源を入れ、端末を立ち上げてください。

ＰＯＷＥＲが点灯、ＲＵＮが点滅、ＥＲＲＯＲが消灯するまでお待ちください。
約１１０秒で立ち上がり完了となります。
状態表示ＬＥＤについては『1- 特徴と機能概要』をご参照ください。

配信メール内容

配信するイベントメール内容は下記のようになります。

メール内容例

```
①　from: xxxxxx@xxxx

②　Subject: Sanyokogyo 09012345678

③　date: Mon Sep 10 12:34:56 2007

　　アナログ入力１　Low

　　http://111.222.333.444/remotectl.cgi?ID=09012345678&UID=1&BIT=0x0000
```

1　送信者
- 【Mail アドレス】

2　メールタイトル（件名）
- 【端末名称】＋“電話番号”

3　メールメッセージ（本文）
- 信号入力時刻・イベント発生時刻
- 【信号名称】＋ アナログ入力の場合“Low” または“Hi”
- “通信モジュール動的ＩＰアドレス”
  URL をクリックすると遠隔操作画面に移ります。
  □リモート設定画面で“使用”を選択した場合のみ

※【 】内は設定した情報および名称になります。

テストメール配信では下記の内容になります。

```
①　from: xxxxxx@xxxx

②　Subject: Sanyokogyo

③　The Mail from RemoteSAN!
```

遠隔操作画面

認証画面では設定した端末パスワードを入力してください。
パスワードを間違えた場合は再入力画面が表示されます。
パスワードを設定していない（空欄の）場合は認証画面が表示されません。
＜認証画面＞

パスワード認証されますと、状態表示画面が表示されます。
＜状態表示画面＞

［端末ＩＤ］　　　端末ＩＤ（電話番号）が表示されます。

［端末名称］　　　端末名称が表示されます。

［ＤＩ　status］　　ＤＩ入力状態１で入力ＯＮ

［ＡＩ　status］　　ＡＩ入力値表示

［ＤＯ　status］　　ＤＯ出力状態１で出力ＯＮ
［ＤＯ操作］　　　操作画面に行きます。
　※他の人が遠隔操作を行っている場合は操作画面へ移れません。

［更新］　　　　状態表示画面の更新を行います。
［終了］　　　　端末との回線を切断します。
　※他の人が遠隔操作画面に接続している場合は切断しません。

＜操作画面＞

端末ID
09099999999
端末名称
エコモット株式会社

DATE
2000/10/20 12:30
Remote Control
デジタル出力1:0 don't care
デジタル出力2:0 don't care
デジタル出力3:0 don't care
デジタル出力4:0 don't care
送信 reset

［Ｒemote　Ｃontrol］
ＤＯ名称：ＤＯ出力状態
プルダウンメニュー
don’t care：　　何もしない
Hi level：　　常時ＯＮ出力
Low level：　　常時ＯＦＦ出力
Pulse：　　パルス出力
：パルス出力時間設定（１～１５秒で設定）

［送信］　　　　リレー出力設定後端末に送信を行う。
　※送信・制御出力完了後に状態表示画面へ移ります。
［reset］　　　　Ｒemote　Ｃontrol の選択を don’t care（何もしない状態）に戻す

操作画面への接続

操作画面への接続（操作権限）は１クライアントのみになります。
操作権限は初めに操作画面へ接続したクライアントに与えられ、操作権限を保有している間、他のクライアントは操作画面に接続できません。

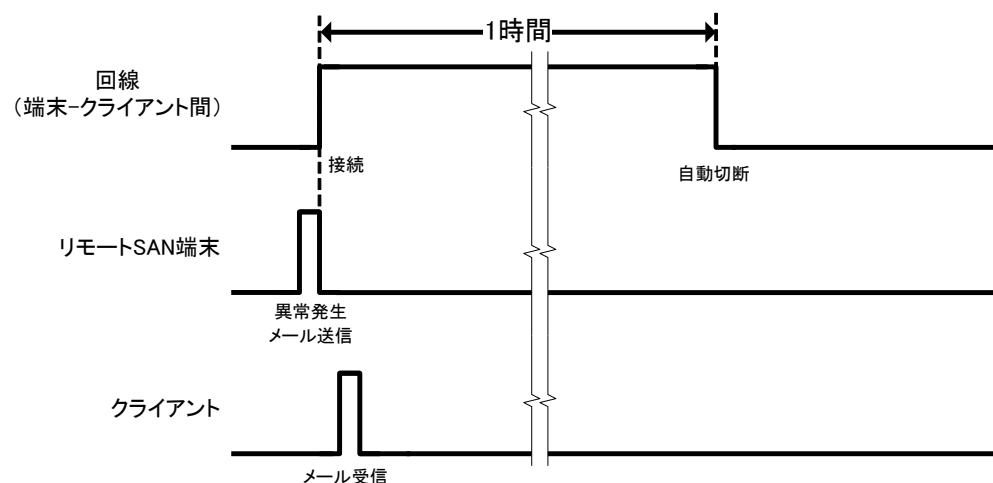
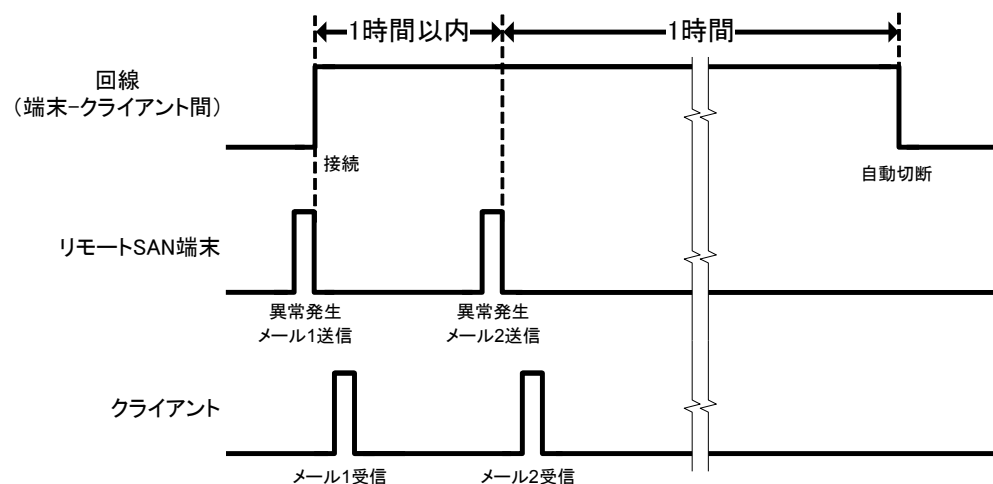
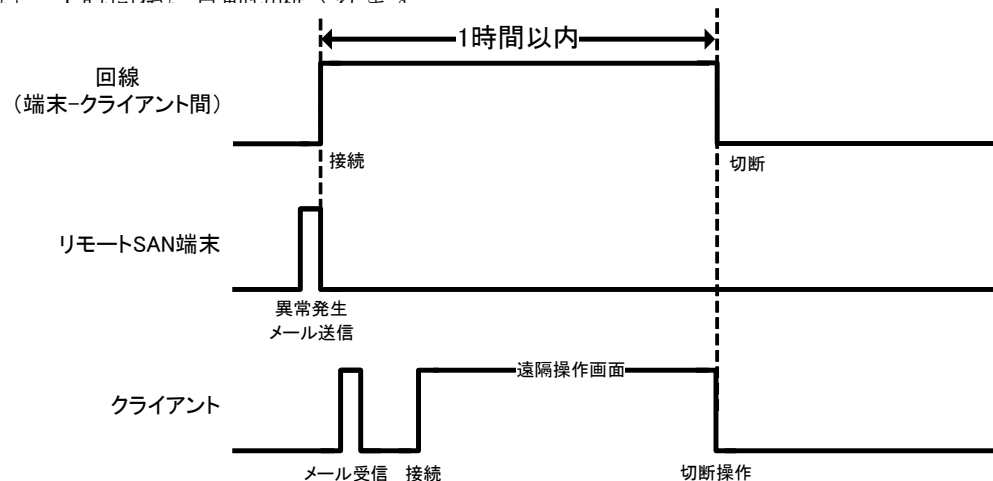
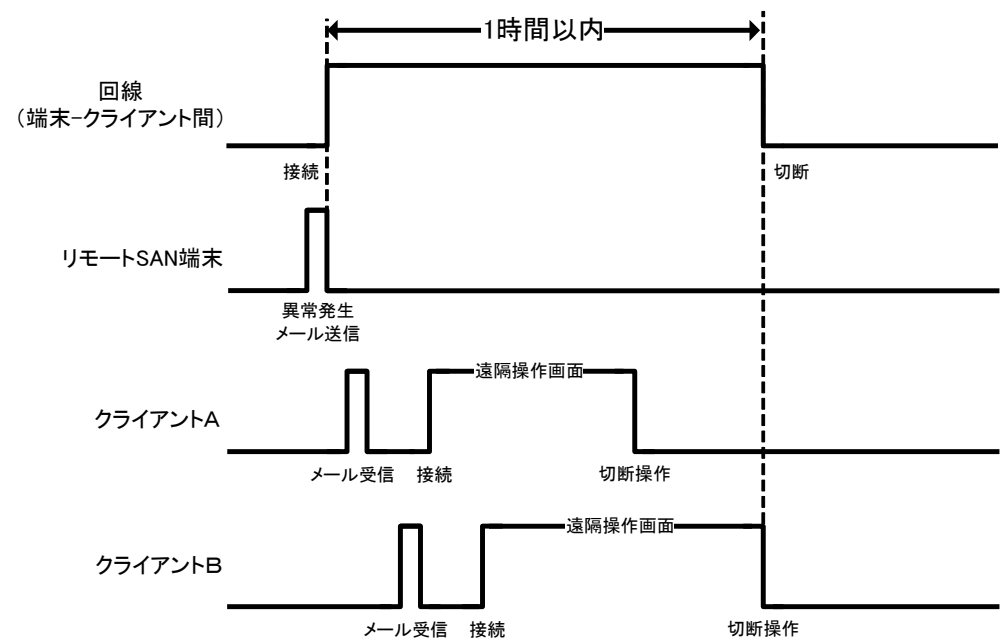
操作権限を持ったクライアントは初回の操作画面への接続以降、状態表示画面に［操作終了］が表示されます。再び遠隔操作を行う場合は［ＤＯ操作］をクリックします。
［操作終了］をクリックすると、遠隔操作を終了し操作権限を開放しますので他のクライアントが操作画面に接続することが出来るようになります。
※画面が更新され［操作終了］が非表示になります。

また、操作権限を持ったクライアントは状態表示画面または操作画面にて、１０分以上操作をしなかった場合、操作権限を失います。再び遠隔操作を行うには一度最新の状態表示を確認後、操作画面に接続してください。
操作権限のないクライアントであっても状態表示画面で１０分以上操作をしなかった場合、同様に一度［更新］をクリックして最新の状態表示を確認してください。

※
ご使用の携帯電話の機種により遠隔操作画面が正常に表示されない場合があります。
また、同一ＵＲＬ（ＩＰアドレス）に対しての接続は前回接続時の画面が表示されることがあります。その際は再度読み込み（更新）をする必要がありますのでご注意ください。

回線の接続と切断

イベントメールモード（単独モード）では、端末からＥメールを送信することで端末－クライアント間の回線が接続され、１時間後*回線は自動的に切断されます。

＊　設定ツールにてリモート（遠隔操作）の使用を選択した場合です。未使用を選択した場合Ｅメール送信後切断されます。

Ｅメール送信１時間以内に次のＥメールが送信された場合には、最後に送信されたＥメールが基準となり自動切断までの時間が延長されます。

クライアントが遠隔操作画面に接続している場合、状態表示画面の［終了］をクリックして切断操作を行いますとその時点で回線は切断されます。切断操作を行わず遠隔操作画面を閉じた場合は、１時間後に自動切断されます。

複数のクライアントが同時に遠隔操作画面に接続している場合、全てのクライアントが［終了］をクリックして切断操作を行わない限り回線の切断は行われません。

回線切断後は再び端末よりＥメールが送信された場合にのみ、クライアント側から端末に接続が出来ます。

＜遠隔操作画面＞

※回線切断時

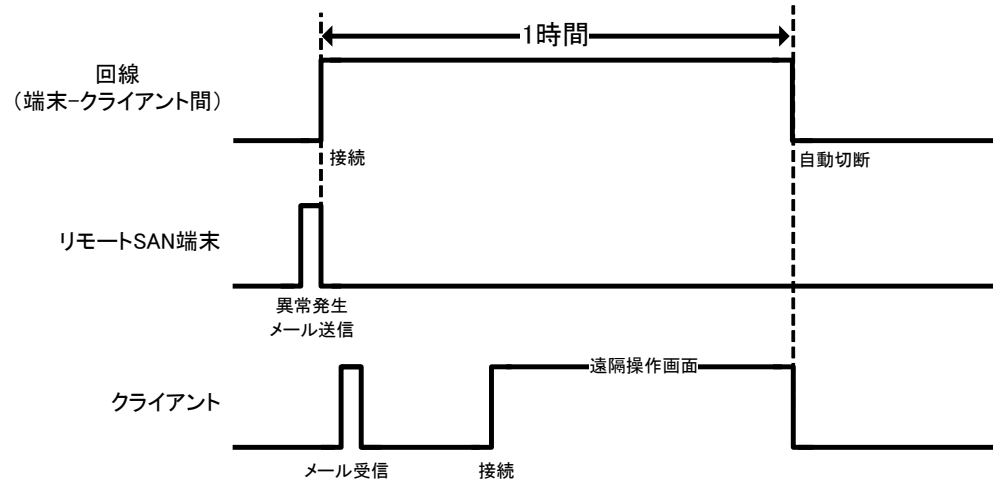
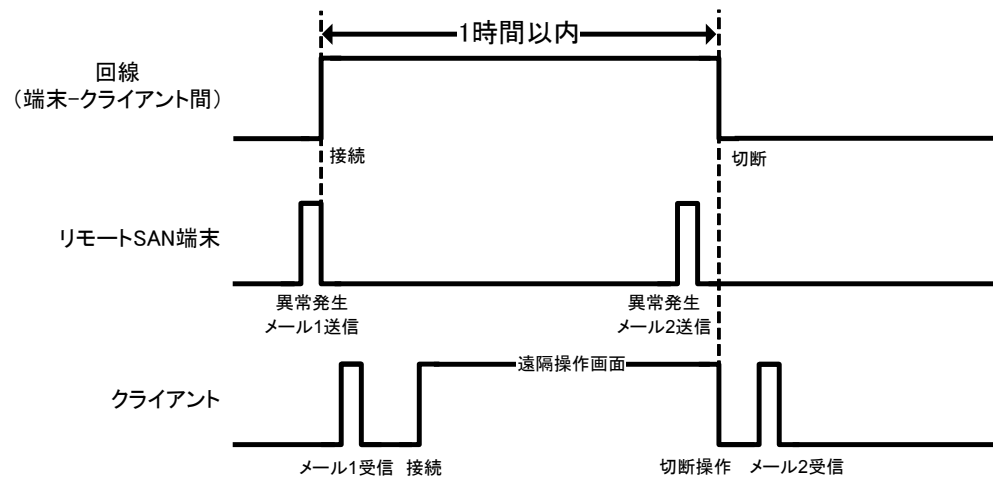
切断します。

※切断操作時、他のクライアントが接続中の場合

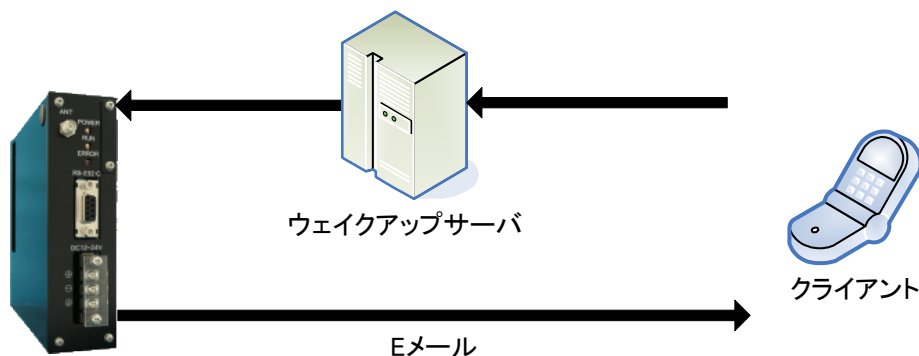
他の人が使用していますので
切断されません。

※注意事項

・遠隔操作画面接続中であっても端末に新たな異常が発生した場合はＥメール配信が行われます。
ただし、回線や携帯電話の状態により受信の遅れが生じる場合があります。

・Ｅメール送信から１時間が経過しますとクライアントが遠隔操作中でも回線は切断されます。

・切断操作の直前に異常が発生した場合Ｅメール送信は行われますが、クライアントがメールを受信した時点で回線が切断されていると遠隔操作画面に接続できません。
遠隔操作画面に接続する場合はウェイクアップサービスをご利用ください。

ウェイクアップサービス

オプションサービス：別途契約が必要です。

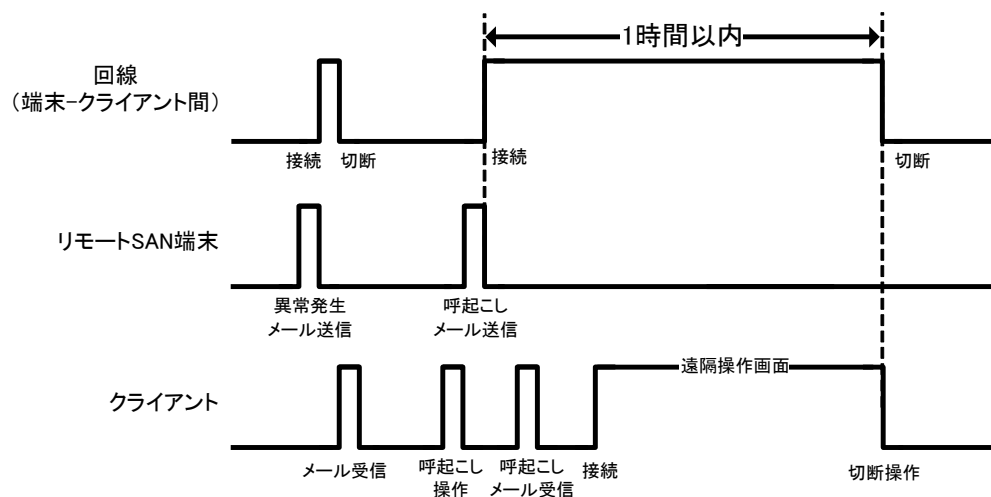
ウェイクアップサーバから端末を呼起こし、携帯電話またはパソコンにＥメールを送信させることで、いつでも状態表示画面へ接続できます。

イベントメールモード（単独モード）はクライアントから直接、端末に接続することが出来ません。クライアントが端末に接続できるのは、接点入力、アナログ上下限チェック、定時刻メール設定によりＥメールがクライアントに送信された時のみになります。
ウェイクアップサービスではクライアントからウェイクアップサーバに接続し、サーバより端末にアクションを起すことでＥメールを送信させます。

ウェイクアップ操作手順

携帯電話またはパソコンからウェイクアップサーバに接続します。
あらかじめ登録申請したユーザー名、パスワードを入力し［送信］をクリックします。

パスワード認証後、ウェイクアップサーバが対象端末を呼び起こしに行きます。

呼起こされた端末からＥメールが送信されますので、本文中のＩＰアドレスから遠隔操作画面に接続します。
他のクライアントが遠隔操作画面を閲覧中など、端末－クライアント間の回線が既に接続されている場合、上記画面が表示されますが呼起こしは出来ません。

ウェイクアップサービスを有効に利用していただく為には、出来るだけ回線を切断した状態にしてください。その為、設定ツールのリモート設定で遠隔操作未使用を選択し、遠隔操作画面に接続する際は、呼起こしを行うことをおすすめします。また次の呼起こしを行えるように、遠隔操作画面は［終了］をクリックして回線切断を行ってください。

※注意事項
・設定ツールのメール配信設定にて呼起こしのメール送信先を必ず設定してください。
・回線の状況により呼起こしを行ってからＥメールが届くまで時間が掛かることがあります。
　メールが届かない時は再度呼起こしを行ってください。